

現代朝鮮語における連続した2形容詞の語順について —現代日本語についての同様の研究結果と対照して—

深見兼孝

はじめに

この小稿は、現代朝鮮語において、2個の形容詞が連続して現れるとき、その語順にどのような傾向が見られるかを調査し、その結果を、現代日本語についての同様の研究である森田(1994)と対照したものである。

1. 問題点

日本語と朝鮮語は文構造の上で、動詞が文末に、修飾語が被修飾語の前に置かれ、名詞の文法機能は後置詞によって示されるという共通の特徴を持つ。しかし、それ以外の文要素、例えば格成分間の語順、副詞的成分の語順、あるいはここで問題にしている連体修飾語句内部の語順の異同についてはこれまであまり関心が持たれなかったようである。「大きな違い」が期待できない日本語と朝鮮語では、このような微細な面にこそ両言語の特質が現れるのではないかと思われる。ひとつひとつ確かめていかなければならない問題であろう。

以下はそのひとつの試みと位置づけたい。

2. 方法

森田(1994)は「基礎的形容詞」を選定し、それらを意味の上からタイプ分けした上で、実例調査とアンケート調査を行っている。

実例調査では、二つの形容詞のうち先行する形容詞が「て形」で全体として述語として働く場合、二つの形容詞がともに連体形で全体として次の名詞の連体修飾語として働く場合、二つの形容詞のうち先行する形容詞が「て形」で全体として次の名詞の連体修飾語として働く場合を用例とし、そこに現れた形容詞の意味的タイプと語順の関係について、文脈を考慮しつつ議論を展開している。

アンケート調査では、上の3つの場合(以下1、2、3とする)それぞれについて、二つの形容詞の語順を入れ替えた20ペアの例文を作り(合計60ペア)、100人の日本語母語話者にそれぞれのペアのうちどちらが「自然か」を答えてもらい、その回答数に基づいて議論を展開している。何に基づいて形容詞(の組み合わせ)を選定したのか、記述がないのははっきりしないが、2と3は先行する形容詞の語形が異なるのみである。

この小稿では、上の1、2、3に対応する形で森田(1994)の作成した例文をすべて朝鮮語に翻訳してもらい、その翻訳文について、9人の母語話者にそれぞれのペアのうちど

ちらが「自然か」を答えてもらう、という方法を使った¹⁾。翻訳に際しては、日本語の「て形」に対して朝鮮語では接続形語尾-go を取る形で、日本語の連体形に対して朝鮮語では冠形詞形語尾-n/eun を取る形で翻訳してもらった(付録を参照されたい)²⁾。したがって、この小稿ではアンケート部分から得られた結果のみを比べ、文脈による影響については考察の対象としていない。

3. 結果

表1は二つの形容詞のうち先行する形容詞が接続形語尾-go を取り全体として述語として働く場合(1に対応する場合)の回答数、表2は二つの形容詞がともに冠形詞形語尾-n/eun を取り全体として次の名詞の連体修飾語として働く場合(2に対応する場合)の回答数、表3は二つの形容詞のうち先行する形容詞が接続形語尾-go、後行の形容詞が冠形詞形語尾-n/eun を取り全体として次の名詞の連体修飾語として働く場合(3に対応する場合)の回答数である。

表中、例文番号の右肩の「*」は、その例文に対して「AもBも不自然である」という回答が20% ($9 \times 0.2 \div 2$) を越えたことを示す。これらは考察の対象としない。ただし、表2については、一人の回答がすべて「AもBも不自然である」だったので、この回答が3以上の例文を考察からはずした。なお、表1の例⑬、表2の例⑳には無回答が1あった。

表1：先行する形容詞が接続形語尾-go を取り、全体として述語として働く

	ア	イ	ウ	エ
①	3	5	0	1
②	1	0	8	0
③	1	7	1	0
④	3	6	0	0
⑤	4	5	0	0
⑥	5	1	3	0
⑦	3	6	0	0
⑧	3	5	1	0
⑨*	1	4	2	2
⑩	2	6	1	0
⑪	2	7	0	0
⑫	0	9	0	0
⑬	2	3	2	1
⑭*	1	5	0	3
⑮	3	6	0	0
⑯	0	7	1	1
⑰*	2	4	1	2
⑱	2	7	0	0
⑲	4	4	1	0
⑳*	1	2	0	6

ア：AもBも自然
イ：Aの方が自然
ウ：Bの方が自然
エ：AもBも不自然

表2：先行する形容詞が冠形詞形語尾-n/eun を取り、全体として連体修飾語として働く

	ア	イ	ウ	エ
①*	0	0	2	7
②	5	1	2	1
③	0	2	5	2
④*	1	0	1	7
⑤*	0	2	0	7
⑥	2	5	0	2
⑦*	2	2	2	3
⑧	0	7	0	2
⑨*	0	4	0	5
⑩*	3	1	2	3
⑪	3	1	4	1
⑫	0	2	6	1
⑬	3	3	1	2
⑭*	1	3	1	4
⑮*	0	1	3	5
⑯	0	7	0	2
⑰	2	6	0	1
⑱*	1	0	2	6
⑲*	0	1	0	8
⑳*	0	3	0	5

ア：AもBも自然
イ：Aの方が自然
ウ：Bの方が自然
エ：AもBも不自然

表3：先行する形容詞が接続形語尾-go を取り、全体として連体修飾語として働く

	ア	イ	ウ	エ
①*	0	6	0	3
②	2	2	4	1
③	2	6	0	1
④	1	7	1	0
⑤	5	1	3	0
⑥	5	0	4	0
⑦	8	0	1	0
⑧	1	0	8	0
⑨*	3	1	3	2
⑩	3	3	2	1
⑪	5	4	0	0
⑫	2	6	0	1
⑬	4	1	4	0
⑭	2	6	1	0
⑮	4	5	0	0
⑯	2	7	0	0
⑰*	2	3	2	2
⑱*	4	1	2	2
⑲	5	2	2	0
⑳	3	5	0	1

ア：AもBも自然
イ：Aの方が自然
ウ：Bの方が自然
エ：AもBも不自然

4. 分析

表4：1に対応する場合。「Aの方が自然」という回答について

回答数 2位との差	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
9	⑫									
8										
7										
6			③⑬							
5			⑪⑱							
4				⑩						
3				④⑦⑮						
2					①⑧					
1					⑤		⑬			
0						⑲				

表5：2に対応する場合。標準字体…「Aの方が自然」という回答について、斜字体…「Bの方が自然」という回答について

回答数 2位との差	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
9										
8										
7										
6										
5			⑧⑯							
4				⑰⑲						
3					⑥③					
2										
1						⑪				
0										

二つの形容詞のうち先行する形容詞が接続語尾-goを取り全体として述語として働く場合をしてみる(表1)と、一見してほとんどの例で「Aの方が自然」という回答がいちばん多いのが分かる。そこで、「Aの方が自然」という回答がいちばん多い例を、その回答数と次に多い項目の回答数との差に注目して並べ替えたのが表4である。同様にして他の2つの場合についても同じ処理をした。ただし、これらは回答数の多い2つの項目について行った(表5、6)。これによって、各例文に対する回答の集中度についておよその見当をつけることができるので、以下それに従って分析を進める。なお、形容詞の意味的特徴については森田(1994)に準じるものとする。

まず、表4から。例⑫は全員が「辞書」について keu-‘大きい’、bulpyeonha-‘不便だ’の語順が自然であると判定している。これは「形状」、「評価」の語順で意味的にもその結びつきは自然である³⁾。次に③

表 6：3に対応する場合。標準字体…「Aの方が自然」という回答について、斜字体…「AもBも自然」という回答について

回答数 2位との差	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
9										
8										
7		⑦								
6			④							
5			⑩							
4				③⑫⑭						
3					⑲					
2					⑳⑤					
1					⑮⑥⑰					
0						⑬	⑩			

⑪⑬⑱。③は「紙」についてyalb-‘薄い’、yagha-‘弱い’の語順で、両方「形状」を表すが、yagha-‘弱い’はyalb-‘薄い’に対する評価的意味の色彩もある。また、意味のつながりも自然であろう。⑪は「人」についてjelm-‘若い’、yebbeu-‘きれいな’の語順で、⑫と同様であろう。⑬「女性の手」についてjag-‘小さい’、ca-‘冷たい’の語順である。⑱「ひぐまの手」についてkeu-‘大きい’、museob-‘恐ろしい’の語順で「形状」とそれに

由来する「感情」であるが、やはり意味の結びつきは自然である。すなわち、⑩を除けば、「形状」を表す形容詞が先行しそれに対して意味的に自然な「評価もしくは感情」を表す形容詞が後行している。

次に④⑦⑩⑮である。④⑦はそれぞれ、「道」についてeodub-‘暗い’、sseulsseulha-‘さみしい’、「部屋」についてneolb-‘広い’、siweonha-‘すずしい’で「形状」と「感情または感覚」の語順になっている。⑩は「バック(かばん)」についてkeu-‘大きい’、mugeob-‘重い’の語順で、どちらも「形状」である。⑮は「目」についてkeu-‘大きい’、areumdab-‘美しい’で、「形状」、「評価」の語順である。このグループでは、前のグループに比べて先行の「形状」を表す形容詞と後行の「評価もしくは感情・感覚」を表す形容詞の間に、意味に自然なつながりが見いだしにくいように思える。また、⑩は前後の形容詞に自然なつながりが見いだせるが、いずれも「形状」を表している。

次に①⑤⑧だが、それぞれ「池」についてneolb-‘広い’、yat-‘浅い’、「針金」についてduggeob-‘太い’、gangha-‘強い’、「鉛筆」についてganeul-‘細い’gil-‘長い’で、いずれにおいても、どちらの形容詞も「形状」を表す。

最後に⑬⑱。それぞれ「電車」についてsaerop-‘新しい’、bbareu-‘速い’、「瞳」についてgeom-‘黒い’、dung’geul-‘丸い’で、どちらも「形状」を表し、また、両者の間の意味の結びつきも希薄である。

以上から、「形状」を表す形容詞が先行し、それに対して意味的に自然な「評価、感情」

を表す形容詞が後行する場合に回答が集中する傾向があると言える。実際、表1で「Bの方が自然」という回答が多かった②（回答数8、2位との差7）でも、「犬」について jag- ‘小さい’、yamjeonha- ‘おとなしい’ で③とおなじことが言えよう。結局、二つの形容詞のうち先行する形容詞が接続語尾-go を取り全体として述語として働く場合では、「形状」を表す形容詞が先行、それに対して意味的に自然な「評価、感情」を表す形容詞が後行という場合に回答が集中する傾向があることが分かる。言い換えれば、そのような語順が好まれると言える。

次に表5について。まず、「Aの方が自然」という回答について見ていく。最初に⑧⑩である。⑧は「りんご」について maseobs- ‘まずい’、keu- ‘大きい’ で、「評価」、「形状」の語順、⑩は「娘(子)」について sangnyangha- ‘優しい’、joh- ‘よい’ の語順で、いずれも「評価」であるが、前者の方が主観的と言えよう。次に⑪は「男」について muryeha- ‘失礼だ’、jeolm- ‘若い’ で、「評価」、「形状」の語順である。最後に⑥は「話」について jaemieobs- ‘つまらない’、gil- ‘長い’ で、「評価」、「形状」の語順である。いずれより主観的な意味を表す形容詞が先行しているが、回答の集中度に差がある理由は不明である。

次に、「Bの方が自然」という回答について見ていく。まず⑫は「女性」について areumdab- ‘美しい’、jeolm- ‘若い’ で、「評価」、「形状」の語順である。これは「Aの方が自然」という回答について見た結果と一致する。次に、③⑩はそれぞれ「荷物」について mugeob- ‘重い’、keu- ‘大きい’、「辞書」について gabyeob- ‘軽い’、jag- ‘小さい’ で、先行する形容詞が判断的な色彩を帯びているが、いずれも「形状」、「形状」の語順である。

結局、二つの形容詞がともに冠形詞形語尾-n/eun を取り全体として次の名詞の連体修飾語として働く場合は、どちらかと言えばより主観的な意味を表す形容詞が先行する場合に回答が集中する傾向にあると言えよう。つまり、そのような語順が好まれるのである。

最後に表6について。まず、「Aの方が自然」という回答から見ていく。初めは④⑩である。④は「ケーキ」について dal- ‘甘い’、masiss- ‘おいしい’ で、「感覚」、「評価」の語順である。⑩は「娘」について sangnyangha- ‘優しい’、joh- ‘よい’ で、「形状」「評価」の語順であるが、前者が人の性格を表すだけ主観的な色彩を帯びている。次に③⑫⑭。③は「荷物」について keu- ‘大きい’、mugeob- ‘重い’ で、後者が判断的な色彩を帯びているが、いずれも「形状」である。⑭は「女性の声」について ganeul- ‘細い’ areumdab- ‘美しい’ で、「形状」、「評価」の語順である。⑫も「形状」、「評価」の語順である。最後に⑮⑯である。それぞれ、「交通機関」について bbareu- ‘速い’、pyeonliha- ‘便利だ’、「所」について joyongha- ‘静かだ’、joh- ‘よい’ で、いずれも「形状」、「評価」の語順であるが、回答の集中度が低い。ここから、主観的な意味の形容詞が先行し、それに対する「評価」を表す形容詞が後行する場合に回答が集中すると言えよ

う。

ただし、表3で「Bの方が自然」に回答が集中している⑧（回答数8、2位との差7）は、「リンゴ」について keu- ‘大きい’、maseobs- ‘まずい’ で、「形状」、「評価」の語順であり、先行する形容詞が主観的意味を持っているとは言えない。したがって、先行する形容詞が主観的意味を持つというのは、それほどはっきりした傾向とは言えないだろう。

次に「AもBも自然」という回答について見ていく。まず⑦「指」について ganeul- ‘細かい’、hayah- ‘白い’ で、いずれも「形状」である。次に⑨は「こと」について nabbeu- ‘悪い’、cangpiha- ‘恥ずかしい’ で「評価」、「感情」である。次に⑤⑥⑪である。⑤は「腕」について geom- ‘黒い’、gulg- ‘太い’ で、いずれも「形状」、⑥は「話」について gil- ‘長い’、jaemieobs- ‘つまらない’ で、「形状」、「評価」、⑪は「辞書」について gabyeob- ‘軽い’、jag- ‘小さい’ で、いずれも「形状」である。最後に⑩⑬である。前者は「Aの方が自然」と、後者は「Bの方が自然」と同じ回答数であった。⑩は「紙」について duggeob- ‘厚い’、bbalgah- ‘赤い’ でいずれも「形状」である。⑬は「一日」について deob- ‘暑い’、gotongseureob- ‘苦しい’ で、「感覚」、「感情」である。これらからは回答の集中度に差があることは説明できないが、⑥を除けば一方の形容詞が、もう一方の形容詞に対する評価を表す、とは言えない。

以上から、二つの形容詞のうち先行する形容詞が接続語尾-go、後行の形容詞が冠形詞形語尾-n/eun を取り全体として次の名詞の連体修飾語として働く場合は、「評価」を表す形容詞が後行する傾向があると言えるだろう。

5. 森田 (1994) との比較

以下、森田 (1994) の分析結果と本小稿での分析結果を簡略して示す：

1 の場合

- ・ 森田 (1994) : 客観的意味を表す形容詞が先行し主観的意味を表す形容詞が後行するか、具象的意味を表す形容詞が先行し抽象的意味を表す形容詞が後行する傾向がある。
- ・ 本稿 : 形状を表す形容詞が先行しそれに対する自然な評価・感情を表す形容詞が後行する傾向がある。

2 の場合

- ・ 森田 (1994) : わずかに評価を表す形容詞が後行する傾向がある。
- ・ 本稿 : どちらかと言えば主観的意味を表す形容詞が先行する傾向がある。

3 の場合

- ・ 森田 (1994) : 客観的意味を表す形容詞が先行し主観的意味を表す形容詞が後行するか、先行する形容詞が理由を表し後行する形容詞がその帰結を表す傾向がある。
- ・ 本稿 : 「評価」を表す形容詞が後行する傾向がある。

ここから、1と3の場合についていうと、両語の形容詞の語順はほぼ同じ傾向を示すようにも見えるが、詳細に見れば、いずれの場合も、日本語の方が二つの形容詞の意味的なつながりがより恣意的のように思える。例えば、1の場合で、森田(1994)の調査で回答が集中したとする⑪⑫⑭⑮⑰のうち、⑭⑰は本稿の調査では「AもBも不自然」とする回答が多く分析の対象外になっているし、⑮もさほど回答が集中しているとは言えない。また、森田(1994)の調査で回答率が高いとしている④⑨⑱や②③のうち、本稿では⑨は分析の対象外になっており、また④にもさほど回答が集中しているわけでもない。同様に3についても、森田(1994)の調査で「評価」を表す形容詞が後行している方が優位だとしている①④⑥⑧⑫⑭⑮⑳のうち、本稿では①は分析の対象外であり、⑫⑭⑮⑳に回答がさほど集中しているとも言えない。

以上から、日本語では1、2、3いずれの場合もほぼ一貫した語順が見られるのに対し、朝鮮語では1、3の場合と2の場合では語順はむしろ逆であると言えよう。また、2形容詞間の組み合わせは、比較して言えば日本語の方が話者の恣意が介在する余地が大きいように思える。

終わりに

以上のように、日本語と朝鮮語の形容詞間の語順には差が見られるようだ。また、その原理らしきものも窺うことができる。しかし、本稿の調査は被験者数が9人と少ないので、今の所は日本語と朝鮮語の形容詞間の語順には説明可能な差が見られる可能性があり、今後追求していく価値はある、としておくのが妥当であろう。

注

- 1) 森田(1994)では「どちらも自然」の場合、「ニュアンスの違い」の有無についても選択肢を設けているが、本稿ではそれは区別しなかった。
- 2) 翻訳は本学大学院生の林 情さんをお願いした。この場を借りてお礼を申し上げる。
- 3) 一般的に辞書は大きければ不便と判断される、という意味である。

言及した文献

森田富美子(1994)「接続された2形容詞の語順—調査報告—」『東海大学紀要 留学生センター』14

付 録

以下に、翻訳文をグロスとともに示す。ただし、3に対応する場合は、2に対応する場合と先行形容詞の語尾が異なるのみなので、グロスは省略する。

略号一覧

過：過去 冠：冠形詞形 感：感嘆 願：願望 疑：疑問 固名：固有名詞 コ：コピュラ 持：持続 主：主格 終：終結形 接：接続形 属：属格 所：所格 対：対格 否：否定 副：副詞形

1に対応する場合

- ①A : i yeonmos-eun neolb-go yat-da.
この 池-主題 広い-接 浅い-終
- B : i yeonmos-eun yat-go neolb-da.
この 池-主題 浅い-接 広い-終
- ②A : i gae-neun yamjeonha-go jag-da.
この 犬-主題 おとなしい-接 小さい-終
- B : i gae-neun jag-go yamjeonha-da.
この 犬-主題 小さい-接 おとなしい-終
- ③A : i jong'i-neun yalb-go yagha-da.
この 紙-主題 薄い-接 弱い-終
- B : i jong'i-neun yagha-go yalb-da.
この 紙-主題 弱い-接 薄い-終
- ④A : i gir-eun eodub-go sseulsseulha-da.
この 道-主題 暗い-接 さみしい-終
- B : i gir-eun sseulsseulha-go eodub-da.
この 道-主題 さみしい-接 暗い-終
- ⑤A : i ceolsa-neun duggeob-go gangha-da.
この 針金-主題 太い-接 強い-終
- B : i ceolsa-neun gangha-go duggeob-da.
この 針金-主題 強い-接 太い-終
- ⑥A : i munje-neun bogjabha-go eoryeob-da.
この 問題-主題 複雑だ-接 難しい-終
- B : i munje-neun eoryeob-go bogjabha-da.
この 問題-主題 難しい-接 複雑だ-終
- ⑦A : i bang-eun neolb-go siweonha-da.
この 部屋-主題 広い-接 涼しい-終
- B : i bang-eun siweonha-go neolb-da.
この 部屋-主題 涼しい-接 広い-終

- ⑧ A : i yeonpir-eun ganeul-go gil-da.
この 鉛筆-主題 細い-接 長い-終
B : i yeonpir-eun gil-go ganeul-da.
この 鉛筆-主題 長い-接 細い-終
- ⑨ A : i garuyag-eun parah-go sseu-da.
この 粉葉-主題 青い-接 苦い-終
B : i garuyag-eun sseugo parah-da.
この 粉葉-主題 苦い-接 青い-終
- ⑩ A : i gabang-eun keu-go mugeob-da.
この かばん-主題 大きい-接 重い-終
B : i gabang-eun mugeob-go keu-da.
この かばん-主題 重い-接 大きい-終
- ⑪ A : jeo saram-eun jeolm-go yebbeu-da.
あの 人-主題 若い-接 きれいだ-終
B : jeo saram-eun yebbeu-go jeolm-da.
あの 人-主題 きれいだ-接 若い-終
- ⑫ A : jeo sajeon-eun keu-go bulpyeonha-da.
あの 辞書-主題 大きい-接 不便だ-終
B : jeo sajeon-eun bulpyeonha-go keu-da.
あの 辞書-主題 不便だ-接 大きい-終
- ⑬ A : jeo seon-eui jeonca-neun saerob-go bbareu-da.
あの 線-属 電車-主題 新しい-接 速い-終
B : jeo seon-eui jeonca-neun bbareu-go saerob-da.
あの 線-属 電車-主題 速い-接 新しい-終
- ⑭ A : jeo saweon-eui gidung-eun duggeob-go hullyungha-da.
あの 寺院-属 柱-主題 太い-接 立派だ-終
B : jeo saweon-eui gidung-eun hullyungha-go duggeob-da.
あの 寺院-属 柱-主題 立派だ-接 太い-終
- ⑮ A : geunyeo-eui nun-eun keu-go areumdab-da.
彼女-属 目-主題 大きい-接 美しい-終
B : geunyeo-eui nun-eun areumdab-go keu-da.
彼女-属 目-主題 美しい-接 大きい-終
- ⑯ A : geunyeo-eui son-eun jag-go ca-da.
彼女-属 手-主題 小さい-接 冷たい-終
B : geunyeo-eui son-eun ca-go jag-da.
彼女-属 手-主題 冷たい-接 小さい-終
- ⑰ A : gue-eui bang-eun saerob-go ggaeggeusha-da.
彼-属 部屋-主題 新しい-接 きれいだ-終
B : gue-eui bang-eun ggaeggeusha-go saerob-da.
彼-属 部屋-主題 きれいだ-接 新しい-終
- ⑱ A : bulgom-eui son-eun keu-go museob-da.
ひぐま-属 手-主題 大きい-接 恐ろしい-終

B : bulgom-eui son-eun museob-go keu-da.
ひぐま-属 手-主題 恐ろしい-接 大きい-終

⑱ A : tarou-eui nundongja-neun geom-go dung'geul-da.
太郎-属 瞳-主題 黒い-接 丸い-終

B : tarou-eui nundongja-neun dung'geul-go geom-da.
太郎-属 瞳-主題 丸い-接 黒い-終

⑳ A : jangmi gasi-neun bbalgah-go apeu-da.
バラ とげ-主題 赤い-接 痛い-終

B : jangmi gasi-neun apeu-go bbalgah-da.
バラ とげ-主題 痛い-接 赤い-終

2に対応する場合

① A : geu-neun keu-n hullyungha-n geulssi-reul sseu-nda.
彼-主題 大きい-冠 立派だ-冠 字-対 書く-終

B : geu-neun hullyungha-n keu-n geulssi-reul sseu-nda.
彼-主題 立派だ-冠 大きい-冠 字-対 書く-終

② A : geu-neun bbalga-n jag-eun weon-ul geuryeoss-da.
彼-主題 赤い-冠 小さい-冠 丸-対 書く・過-終

B : geu-neun jag-eun bbalga-n weon-ul geuryeoss-da.
彼-主題 小さい-冠 赤い-冠 丸-対 書く・過-終

③ A : namja-neun keu-n mugeou-n jim-eul deul-go iss-eoss-da.
男-主題 大きい-冠 重い-冠 荷物-対 持つ-持-過-終

B : namja-neun mugeou-n keu-n jim-eul deul-go iss-eoss-da.
男-主題 重い-冠 大きい-冠 荷物-対 持つ-持-過-終

④ A : eomma-ga da-n masiss-neun keikeu-reul mandeur-eo ju-eoss-da.
母-主 甘い-冠 おいしい-冠 ケーキ-対 作る-恩恵-過-終

B : eomma-ga masiss-neun da-n keikeu-reul mandeur-eo ju-eoss-da.
母-主 おいしい-冠 甘い-冠 ケーキ-対 作る-恩恵-過-終

⑤ A : tarou-neun abeoji-eui gulg-eun geom-eun palddug-e maedallyeoss-da.
太郎-主題 父親-属 太い-冠 黒い-冠 腕-所 しがみつく・過-終

B : tarou-neun abeoji-eui geom-eun gulg-eun palddug-e maedallyeoss-da.
太郎-主題 父親-属 黒い-冠 太い-冠 腕-所 しがみつく・過-終

⑥ A : na-neun jaemieobs-neun gi-n iyagi-reul deud-go sip-ji anh-da.
私-主題 つまらない-冠 長い-冠 話-対 聞く-願-否-終

B : na-neun gi-n jaemieobs-neun iyagi-reul deud-go sip-ji anh-da.
私-主題 長い-冠 つまらない-冠 話-対 聞く-願-否-終

⑦ A : na-neun harumi-eui haya-n ganeu-n songarag-eul gieogha-nda.
私-主題 固名-属 白い-冠 細い-冠 指-対 思い出す-終

B : na-neun harumi-eui ganeu-n haya-n songarag-eul gieogha-nda.
私-主題 固名-属 細い-冠 白い-冠 指-対 思い出す-終

⑧ A : eoje maseobs-neun keu-n sagwa-reul meog-eoss-da.
昨日 まずい-冠 大きい-冠 リンゴ-対 食べる-過-終

- B : eoje keu-n maseobs-neun sagwa-reul meog-eoss-da.
昨日 大きい-冠 まずい-冠 リンゴ-対 食べる-過-終
- ⑨ A : geunyeo-neun geu-eui duggeou-n keu-n gaseum-e ddwieodeur-eoss-da.
彼女-主題 彼-属 厚い-冠 大きい-冠 胸-所 飛び込む-過-終
- B : geunyeo-neun geu-eui keu-n duggeou-n gaseum-e ddwieodeur-eoss-da.
彼女-主題 彼-属 大きい-冠 厚い-冠 胸-所 飛び込む-過-終
- ⑩ A : caegsang wi-e iss-neun bbalga-n duggeou-n jong'i-reul gaji-go o-llae.
机 上-所 ある-冠 赤い-冠 厚い-冠 紙-対 持つ-副 来る-意
- B : caegsang wi-e iss-neun duggeou-n bbalga-n jong'i-reul gaji-go o-llae.
机 上-所 ある-冠 厚い-冠 赤い-冠 紙-対 持つ-副 来る-意
- ⑪ A : na-neun jag-eun gabyeou-n sajeon-eul weonha-nda.
私-主題 小さい-冠 軽い-冠 辞書-対 欲しい-終
- B : na-neun gabyeou-n jag-eun sajeon-eul weonha-nda.
私-主題 軽い-冠 小さい- 辞書-対 欲しい-終
- ⑫ A : geonneopyen-e jeolm-eun areumdau-n yeoja-ga seo iss-da.
向こう-所 若い-冠 美しい-冠 女性-主 立つ・持-終
- B : geonneopyen-e areumdau-n jeolm-eun yeoja-ga seo iss-da.
向こう-所 美しい-冠 若い-冠 女性-主 立つ・持-終
- ⑬ A : ireoh-ge haeseo gotongseureou-n deou-n haru-ga jinagass-da.
このようだ-副 する・接 暑い-冠 暑い-冠 一日-主 過ぎていく・過-終
- B : ireoh-ge haeseo deou-n gotongseureou-n haru-ga jinagass-da.
このようだ-副 する・接 暑い-冠 暑い-冠 一日-主 過ぎていく・過-終
- ⑭ A : eodi-seo-inga geunyeo-eui ganeu-n areumdau-n sori-ga deullyeowass-da.
どこ-所-疑 彼女-属 細い-冠 美しい-冠 声-主 聞こえてくる・過-終
- B : eodi-seo-inga geunyeo-eui areumdau-n ganeu-n sori-ga deullyeowass-da.
どこ-所-疑 彼女-属 美しい-冠 細い-冠 声-主 聞こえてくる・過-終
- ⑮ A : i nara-e-neun bbareu-n pyeonliha-n gytong'gigwan-i iss-da.
この 国-所-主題 速い-冠 便利だ-冠 交通機関-主 ある-終
- B : i nara-e-neun pyeonliha-n bbareu-n gytong'gigwan-i iss-da.
この 国-所-主題 便利だ-冠 速い-冠 交通機関-主 ある-終
- ⑯ A : hanako-neun sangnyangha-n joh-eun agassi-da.
固名-主題 優しい-冠 よい-冠 娘-コ
- B : hanako-neun joh-eun sangnyangha-n agassi-da.
固名-主題 よい-冠 優しい-冠 娘-コ
- ⑰ A : jeo muryeha-n jeolm-eun namja-neun nugu-ya.
あの 失礼だ-冠 若い-冠 男-主題 だれ-感
- B : jeo jeolm-eun muryeha-n namja-neun nugu-ya.
あの 若い-冠 失礼だ-冠 男-主題 だれ-感
- ⑱ A : hujisan-eun yumeongha-n areumdau-n san-ida.
固名-主題 有名だ-冠 美しい-冠 山-コ
- B : hujisan-eun areumdau-n yumeongha-n san-ida.
固名-主題 美しい-冠 有名だ-冠 山-コ

①9 A : ojig-eun cangpiha-n nabbeu-n geos-ida.
汚職-主題 恥ずかしい-冠 悪い-冠 こと-コ

B : ojig-eun nabbeu-n cangpiha-n geos-ida.
汚職-主題 悪い-冠 恥ずかしい-冠 こと-コ

②0 A : yeogi-neun joyongha-n joh-eun gos-ida.
ここ-主題 静かだ-冠 よい-冠 所-コ

B : yeogi-neun joh-eun joyongha-n gos-ida.
ここ-主題 よい-冠 静かだ-冠 所-コ

3に対応する場合

① A : geu-neun keu-go hullyungha-n geulssi-reul sseu-nda.

B : geu-neun hullyungha-go keu-n geulssi-reul sseu-nda.

② A : geu-neun bbalgah-go jag-eun weon-ul geuryeoss-da.

B : geu-neun jag-go bbalga-n weon-ul geuryeoss-da.

③ A : namja-neun keu-go mugeou-n jim-eul deul-go iss-eoss-da.

B : namja-neun mugeob-go keu-n jim-eul deul-go iss-eoss-da.

④ A : eomma-ga dal-go masiss-neun keikeu-reul mandeur-eo ju-eoss-da.

B : eomma-ga masiss-go da-n keikeu-reul mandeur-eo ju-eoss-da.

⑤ A : tarou-neun abeoji-eui gulg-go geom-eun palddug-e maedallyeoss-da.

B : tarou-neun abeoji-eui geom-go gulg-eun palddug-e maedallyeoss-da.

⑥ A : na-neun jaemieobs-go gi-n iyagi-reul deud-go sip-ji anh-da.

B : na-neun gil-go jaemieobs-neun iyagi-reul deud-go sip-ji anh-da.

⑦ A : na-neun harumi-eui hayah-go ganeu-n songarag-eul gieogha-nda.

B : na-neun harumi-eui ganeul-go haya-n songarag-eul gieogha-nda.

⑧ A : eoje maseobs-go keu-n sagwa-reul meog-eoss-da.

B : eoje keu-go maseobs-neun sagwa-reul meog-eoss-da.

⑨ A : geunyeo-neun geu-eui duggeob-go keu-n gaseum-e ddwieodeur-eoss-da.

B : geunyeo-neun geu-eui keu-go duggeou-n gaseum-e ddwieodeur-eoss-da.

⑩ A : caegsang wi-e iss-neun bbalgah-go duggeou-n jong'i-reul gaji-go o-llae.

B : caegsang wi-e iss-neun duggeob-go bbalga-n jong'i-reul gaji-go o-llae.

⑪ A : na-neun jag-go gabyeou-n sajeon-eul weonha-nda.

B : na-neun gabyeob-go jag-eun sajeon-eul weonha-nda.

⑫ A : geonneopyen-e jeolm-go areumdau-n yeoja-ga seo iss-da.

B : geonneopyen-e areumdab-go jeolm-eun yeoja-ga seo iss-da.

⑬ A : ireoh-ge haeseo gotongseureob-go deou-n haru-ga jinagass-da.

B : ireoh-ge haeseo deob-go gotongseureou-n haru-ga jinagass-da.

⑭ A : eodi-seo-inga geunyeo-eui ganeul-go areumdau-n sori-ga deullyeowass-da.

B : eodi-seo-inga geunyeo-eui areumdab-go ganeu-n sori-ga deullyeowass-da.

⑮ A : i nara-e-neun bbareu-go pyeonliha-n gyotong'gigwan-i iss-da.

B : i nara-e-neun pyeonliha-go bbareu-n gyotong'gigwan-i iss-da.

⑯ A : hanako-neun sangnyangha-go joh-eun agassi-da.

B : hanako-neun joh-go sangnyangha-n agassi-da.

⑰ A : jeo muryeha-go jeolm-eun namja-neun nugu-ya.

B : jeo jeolm-go muryeha-n namja-neun nugu-ya.

⑱ A : hujisan-eun yumeongha-go areumdau-n san-ida.

B : hujisan-eun areumdab-go yumeongha-n san-ida.

⑲ A : ojig-eun cangpiha-go nabbeu-n geos-ida.

B : ojig-eun nabbeu-go cangpiha-n geos-ida.

⑳ A : yeogi-neun joyongha-go joh-eun gos-ida.

B : yeogi-neun joh-go joyongha-n gos-ida.